

そこが知りたい 泥土リサイクル

編書 泥土リサイクル協会

書籍紹介

近年、多くの事業者の取り組みにより建設工事における廃棄物の発生量は縮減され、再利用や再資源化の推進により最終処分量についても年々減少している。

一方、処分場の逼迫やそれに伴う処理費の発足、同協会の理事

用の高騰も考慮すると、処分量削減のため、現場で活躍する中堅技術者を中心に組織し、情報提供・課題抽出を行い、企業としての枠を超え業界全体に適切なアイデアを創造し最適な再生利用方法・スキームの立案・発信を進めている。本書についてもプロジェクトチームが中心となり、さらに官、学、法務のアドバイザーの指導のもと作成した。

国の建設リサイクル推進計画においてもリサイクルの「質」の向上が求められている。こういった流れの中、同協会では泥土リサイクル活性化プロジェクトチームを

発足。同協会の理事



本書では泥土リサイクルを推進するために中間処理業者による処理・リサイクルも選択肢として踏まえた上で、現場内

利用・工事間利用を積極的に推進するために工事の担当者自身、どうすれば現場での実務を進められるか、例えば「法的な知識がない」という状況であれば、具体的に環境省通知などの部分を参照すれば良いかなど、現場担当者が迷わずに業務を遂行できるよう配慮した構成を取る。

さらに現場担当者

が迷うことが想定されるポイントを人、方法、機械、材料、検査、モラルと五つに分類し具体的に解説している。例えば「人」であれば、「最適なリサイクル方法が分からない」「誰に相談すればいいか分からない」など、そ

れぞれの状況に対応して、直接的な回答だけでなく、参照すべき通知や書籍、問い合わせ先や問い合わせの際のポイントについて具体的な解説を行っている。

本書の編集を取りまとめた同協会の西川美穂事務局次長は、「建設汚泥リサイクルはコスト削減のみならず温暖化防止に大きく寄与する。CSRとしてSDGsへの取り組みの一環としての実施に本書を役立てて欲しい」と述べている。問い合わせは(一社)泥土リサイクル協会 (☎0587・23・2713)まで。